

## 湯澤先生のご講演の職員の感想

(平成29年7月26日(水) 梅林小学校 会議室にて実施)

- ・ 人づくりは、とても大切だなあと思いました。それも「集団」というくりではなく「個」を育てることがとても大切だと思いました。普段の生活の中を充実させるということも同感しました。学校←→家庭という生活のくり返しではなく、いろいろなものに興味を広げていくことが将来の国際人材につながっていくことが分かりました。また、以前から踏襲された教育活動だけではなく「考えてみよう」とアプローチをしながら意識化することも大切だと思いました。今後、「日本だけを考えていたのでは難しい」ことを子どもたちに伝えていこうと思いました。世界は人間同士なのだから。どうもありがとうございました。(50代 女性)
- ・ すてきなお話をありがとうございました。普段では、絶対に聞くことができない話にわくわくしながら聞かせていただきました。特に、印象に残っていることがあります。一つ目は、過去の成功体験の話です。思い返してみると、私自身も現状に目を向けず、成功体験から離れられず、つまってしまっていたことがありました。自分自身にも向き合いながら、固執せず、臨機応変に変われる人になりたいと思いました。二つ目は、基本価値観やコミュニケーション力の大切さです。国際力＝語学力と考える風潮に違和感がありましたが、その一つの答えをいただきました。やはり根幹となる基本的な資質を育てていくことが、真の国際人へとつながることを確信しました。三つ目は、応援です。先生のお話には、「応援」という言葉がたびたび聞かれました。他人を応援して、自分も応援してもらえる、そんなクラスなら居心地もよく、きっと自己実現も図れることでしょう。コミュニケーションの力を大切に互いの強みが生かされるクラスを作っていきたいと思いました。  
非常に刺激的なお話で、もう少し会話させていただきたいと思いました。夏休み明けの学級経営や子どもたちとの関わりに一磨きかけることができそうです。(30代 男性)
- ・ 国際社会に生きる子どもたちの基礎が『共感能力』であること、その能力は、小学校時代のコミュニケーションにあることが分かった。日本の社会が今どんな状態にあり、わたしたちはどんなことができるかを考える機会をいただきました。世界で色々な方と接した湯澤先生のお話は楽しかったです。自分自身でも共通価値観がアップできるように職場でも実践していきたい。  
(50代女性)
- ・ 「共感力」、今日のテーマに関わらず人が生きていく上で大切なんだと思いました。人の根底にある価値観というものは、国籍にかかわらずあるだろう

から、そこを大切に子ども達に関わっていきたい。「失敗してもOK」ということを学校という小さな社会の中で保障していく必要がある。私も以前住んでいたアパートに中国・メキシコ・ペルー・フィリピンの人達が住んでいて、数ヶ月に一回その国の料理を持ち寄ってパーティーをしていましたが、確かにその時は「〇〇人」とは見ずに同じ人として互いの思いを語っていたように思います。そして、その時は、互いの伝えたいことに共感し合おうとされていたと思います。(30代 男性)

- ・ 「お天道さまは見ててくれるよ」の考え方に転換することが私にとっても新しい発見でした。日頃子どもたちに「～見てるよ」と伝えていましたが、「～見ててくれるよ」と思考を変えることで、何事にも意欲的に取り組もうとする子どもたちを育成することにつながると感じました。私たち教員は、国際社会で活躍できる人材を育成していくことも意識しながら子どもたちに接していくことの大切さも改めて実感することができました。(40代 女性)

- ・ 国際理解をこれから先深めていくためには、それを受け入れていく下地をつくるのが大切なのだと感じました。「言葉」「出来事」「出会い」を大切にしながら提示ではなく「考える」というアプローチで提供していくことは、子どもたちへのこれからの教育ともとても密接に関わっていると感じ、また、「考える」というアプローチを大切にしようと思いました。  
(20代 男性)

- ・ 本日は貴重なお時間をいただきありがとうございました。日本にいるから、日本のことでしか頭になく「他の国と比べる」という考え方が足りないなと思いました。また、共感することの大切さを知ることができました。ありがとうございました。(20代 女性)

- ・ 人のことを思いやり、人のことを自分ごとにして考え、行動する・・・あたり前のことをあたり前にする大切さを改めて確認することができました。大人も自分のことで精一杯です。でも。相手、周りのことを考えられるようにしていきます。グローバル人材は、周りのことが気づかえる、小さなことを大切にできる人。これからの指導に生かしていこうと思います。  
(40代 女性)

- ・ 日頃の学校教育や研修では聞けない日本企業の人材育成の実態や日本を取り巻く時代の環境の変化について知り学ぶことができたいへんよい機会となりました。これから国際社会に出ていく子どもたちを育てている私達はどのように教育していけばよいのだろうと改めて考えさせられました。この夏休み、自分自身も海外に出る機会をもつので外国人と交わるチャンスを大切に少しでも発見したり学んだりできたらと思っています。(50代 女性)

- ・ 実際、外国に住んで様々な人種の方と携わってきた湯澤先生の話は、「日本人と外国の方ってこんなに考え方が違うんだな」と驚きました。私は、外国は修学旅行で行ったぐらいなのでほとんど外国人、外国と関わったことはありません。ですが、外国の歌を聴いたり、映画を見たりするだけでも「日常に外国を感じる」こと・・・大切なのかなと思います。(外国の映画はとても大好きです) とても分かりやすい講演で「なるほど」と思った場面が多かったです。ありがとうございました。(20代 女性)
- ・ 本日は、とても勉強になりました。ありがとうございました。夏休みが明けたらさっそく「お天道様が見ててくれるよ」と子どもたちに伝えようと思います。湯澤先生の講演の中で「日本が成功体験から抜け出せていない」「失敗しても再挑戦できない」とお話になりドキッとしました。どうしたら良いか考えさせられました。(20代 男性)
- ・ 豊かな海外生活とお仕事での立場から広い視野で日本の姿を捉えられたお話には、これまで気づかなかったこと、知ることでもなかったことが多々あり、改めて日本の現状や歩みを知ることができた気がします。日々の生活に精一杯な毎日ですが、子どもを育てる仕事に携わる一員として、自分にできることは何か考えさせられました。自分自身は、国際的とは程遠いところに位置していると思っていますが、小さな一歩として、好き嫌いをなくしてキャパシティーの広い子どもを育てたいと思いながら支援していることに間違いはなかったかと思い、今後も自分を含めて人と人、心と心をつなげるように取り組みたいです。(50代 女性)
- ・ 日々、人の気持ちを考える子になってほしいと思い、子どもと接しています。相手の気持ちを考え、共感することはとても大切だと改めて感じました。自分自身も子どもと接する時や日々の生活で意識して人と接していきたいです。(20代 女性)